

企業・サイト概要

- 提案企業: 株式会社タイワ精機
- 提案企業所在地: 富山県富山市
- サイト: Kampong Thom州、Takeo州
- 相手国実施機関: カンボジア国農林水産省農業総局、農協
- 事業実施期間: 2013年7月～2015年5月



➤ 国産米の品質向上

コメの国内生産量の約半分の余剰粳が精米されずに粳のまま近隣国に流出し、海外にて加工販売されている。カンボジア政府は国内での加工を進め、付加価値を高めることを目指している。

精米業者の大半の設備も老朽化しており、コメの品質が悪い。

➤ 農協の組織強化

農協が組織として機能しておらず、コメ生産農家は収穫した粳を集荷業者の提示する安価な価格で販売せざるを得ない。

➤ 長粒種米対応の小型精米機(1t/h: 玄米ベース)

- ・ 小規模事業者に適した製品。
- ・ 高い精米歩留り(粳重量に対する白米重量の比率)。
- ・ 低い碎米率、白米の外見上の仕上がりの良さ。
- ・ エネルギー効率の良さ、自動化、コンパクト。
- ・ 修理・メンテナンスが容易。
- **精米事業を通じた支援**
- ・ 現地支援パートナーと共に農協の精米事業を運営および技術面で支援。

提案企業の準備状況

- 2010年に現地子会社を設立し、2013年にはプノンペン経済特区に工場を設立し、現地生産を開始。
- 平成24年度外務省委託費による「案件化調査」において、提案製品の現地競合他社と比較した優位性を確認するとともに、精米機のニーズを確認。

普及・実証事業の内容 (JICA事業)

- 農協/支援パートナーが将来的に精米事業を運営するためのモデルケースの実証を試みる。
- 精米プラントの導入、機械の操作および工場運営に関する技術指導
- セミナー等を通じたライスセンター事業や農協の精米事業モデルの紹介



現時点でのビジネス展開

- カンボジア国に精米機製造工場を自己資金で設立。2013年10月現地製造精米機第一ロット10台が完成し国内精米業者へ完売。製造中の第二ロット10台予定も国内業者へ販売し、精米器および研米機を追加製造予定。